

第三章 現地指導  
十一月八日から四日間の修学旅行本番は、それこそアッという間に過ぎてしまった。第一日の奈良では小雨に遭い、一部予定を変更したコースもあったが、生徒たちはどうして来た。生徒たちが各自の学習研究の成績に従って実地見学を進んでいた。例年にはない紅葉の感りぬることを期待して方針を通じて、

## 修学旅行・論文一席 本校修学旅行の理論と実際 ▶5

東京都立青山高校教諭 臺 靖

### 作文集"を全員に

導はむじる毎日の起床・就寝・食事・入浴・バス乗降時などの規律維持が中心となる。これは、近頃の生徒たちにとってはかなりの強制を感じるものもあるようだが、集団行動の中で納得しきる。



臺教諭

### 第四章 事後

のまとめ

す結果が出たことは、予想されたことではない。私たちの満足するところであった。

ついで、感想文の提出が課せられることは、私たちの期待通りになっていた。三百人近くの生徒たちの作文が集められた。そこを表現されたR-TIMEに感想を中心としたアンケートに記入させた。近頃の生徒たちはこのようないふねなことで、長い歴史の上に繋がってきた伝統というものは、遠い存在ではない。ただ、具体的な文化財対象のR-TIMEに感想を中心としたアンケートに記入させた。近頃の生徒たちはこのようないふねなことで、長い歴史の上に繋がってきた伝統というものは、遠い存在ではない。しかし京都在住のH氏に依頼して説明を行い、それをよく理解して読むことができた。

この終業式の日、記念の文章は全員に配布され、私たちの修学旅行はここに本当に終った。

最後に、「印鑑記」掲載の一節を引用してこの文を終りとする。

## 修学旅行のお宿に全館を開放

- 延暦寺会館本館
- 別館比叡
- 延暦寺会館第1別館 <収容600名様>
- 延暦寺会館第2別館

☆素晴らしい琵琶湖の夜景  
☆根本中堂で早朝の座禅  
☆スッキリした気分でのコースへ  
☆頭のよくなる精進料理  
☆夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕



比叡山 延暦寺会館

TEL 0775-78-0047・0554

TELEX 5464-917

## ホテル<全館和室>

東京都港区六本木1丁目7番地

TEL (03)585-1046(代表)

東京コマ旅行会館は  
第8回優秀防火建築表彰で  
建設大臣賞を受賞いたしました。  
東京でのお泊りは  
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む  
東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、  
修学旅行の皆様に、より有意義な旅行を  
していただくために、清潔で低廉に、し  
かも最新の設備をほどこした全館和室の  
観光旅館です。

東京コマ旅行会館

## チロル風のホテルは仲良し8人が一緒にです。

集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された《スカビレッジ》

●全館冷暖房完備  
●防火優秀ホテルとして昭47.7消防庁長官賞受賞

2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる

250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。

空へ、水へ、緑の中へ…自分でハンドルを握る「ゆうえんち」

国際レーシングコースを走るレーサー気分も…………

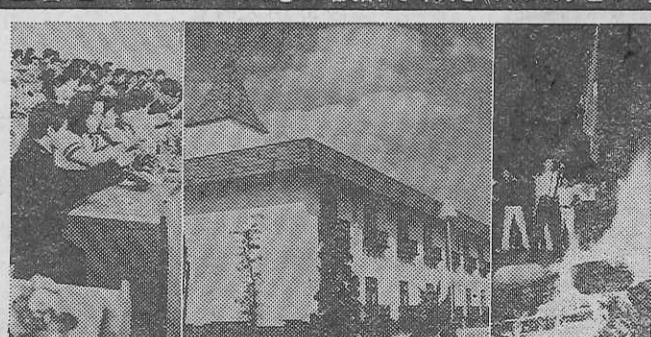
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで

校歌を歌うひととき――

チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も

忘れがたいもの、どれを取っても

学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。



昨年一年間で11万人もの学生さんが

この思い出深い修学旅行を体験しています

「人と科学と自然の接点」

今年の修学旅行こそスズカを加えた

《新近畿ルート》をご検討ください。

スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離

未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。

株式会社 プラット

スズカランド 鈴鹿サーキット 三重県鈴鹿市稻生町 電話=0593(78)1111

本社: 東京都中央区八重洲5-5 ☎03(274)5821

大阪営業所: 大阪市北区芝田町57-5 ☎06(372)1526

昭和52年6月10日

# 友好訪華団の記録

主催 全修協

北京空港の灯が見えてきた。B  
七〇七年は着陸船をとった。網の  
布地の上に降りるよつた鮮かな  
ランディングである。P.I.A.の機長  
の操縦はすばらしいものである。  
私たちは夕闇の北京空港に降り立  
た。キンキンとした寒気であ  
る。見上げれば北京の青い月が  
碧烈な光を放っている。

「あ、これが北京だ」という  
感概が胸に迫ってくる。何ともい  
れない緊張感に身のひきしまる  
る。

日本の同じ時刻とくらべて夜明  
けがおそい、まだう暗い。窓の  
下の自動車置場には(後で見つけ  
たのである)トヨタ、ニッサン  
の車もならんでいた。道路は無灯  
火の自転車が走っている。次から  
次とドンドン走ってくる。早い  
出勤の労働者たちのむれである。  
私はこの時間帯には、いつも愛  
犬を連れて運動のため歩く習慣が  
あるので、さっそく外へ出てみ  
た。白い毛のトックリセーター  
で出た。意外の寒氣である。  
ホテルの前を右へ約百メートル  
に十字路があつて三百六十度とい  
つた真合に、ホテルを中心にして  
歩いてみた。工人服を着た男、女  
がどんどん歩いている。「工場が一  
下さった中国旅行社の五、六  
人の方々が同来してくれた。バス  
の中でいねいな挨拶をうけた。  
まるで広い道、沿道の楊柳の  
並木の道、白い夜のよな  
感じである。ポン、ポンと行  
がどもつていて。足もとから冷え  
がぼつぼつして。乾いたきびしい  
寒さである。

## 夜明けの自転車群

—1—

青木秦也

三重田から長安街へ入り、宿舎  
新橋飯店へ。暖房のきいた部屋で  
第一夜がすぎた。

### 北京の朝

朝、私は早起きである。ベッドを抜けでて分厚いカーテンの裾  
割と広いアスフルトの道路であ  
をめぐり、窓の下をのぞく。

おしゃかた。人民公社への見学  
が待っていた。

(つづく) 新潟県五泉小学校長

い。十一月末の北京の朝は、上表

の職場でも、どの組織にもそ

ない。私たちが、こんな俗世間な感

のことがいえるように思う。長老

の朝食の自炊があたたく、

年功などの序列ではなきつづり

が、年功などの序位ではなきつづり

が、年功などの序位ではなきつづり